

星屑

April' 03

No. 337

速報！！

熊本県民文化賞
受賞決定！！

詳細は次号星屑にて
お知らせします

熊本県民天文台

NPOになったばかりの天文台に、嬉しいニュースが飛び込んできました！！

3月19日、県庁本館5階 知事応接室で 表彰式

「くまもと県民文化賞」

地域文化活動部門 受賞決定！

1. くまもと県民文化賞とは

熊本県が毎年行っている表彰制度で、「地域文化の振興に貢献する活動を行ったものに対し、その功績をたたえるとともに今後の活動を奨励し、ひいては、県内各地における文化活動の促進を図り、本県文化の振興に資する。」ことが目的です。

対象は、県内で活動している団体を原則とし、「地域文化活動部門」「年間文化活動部門」「生活文化活動部門」を設け、3部門合わせて7件を限度として表彰、となっています。

今回、県民天文台が受賞することになった「地域文化活動部門」では、「地域において、一定期間（概ね3年間程度）継続して地道な文化活動や特色のある文化活動に取り組み、芸術・文化の普及発展、伝統文化の保存継承に功績があるとみとめられるもの。」が審査の基準です。

2. 受賞決定の知らせ

NPO認証と登記が終わり、NPOギャラリー開催の準備に奔走していた2月の下旬、城南町役場企画振興課の久間原さんから電話がありました。

「実は・・・、以前から申請していました、くまもと県民文化賞の件なんですけど・・・今日、県の内定があったのですが・・・」と、言いにくそうな声と雰囲気、さては最終審査

で天文台はこけてしまったかと内心落胆しました。

「県の担当から、新たに書類を提出するように依頼があつてですね・・・」といわれても、今さら敗者復活でもないだろうにと、気は晴れません。電話の声は、団体活動の経歴書など幾つかの項目を上げ続け、最後に大勢で写っている集合写真の提供を求めています。（何で今さら・・・？）

そう、そんな会話が5分くらい続いてから、やっとその声が明るい基調に代わり、ようやく私も「熊本県民天文台」の「受賞」が「内定」したのだと理解することができました。

大急ぎで帰宅して、天文台のメーリングリストを通じて「受賞決定」を知らせました。

3. 表彰式は、3月19日

授賞式は19日10時半から、県庁5階の知事応接室で行われます。団体から代表2名、城南町から1名の出席要請がありました。受賞者席(?)はそれだけなのでしょうが、「会員さんなど大勢来られても大丈夫です。」とのこと、お暇な方は是非駆けつけて下さい。

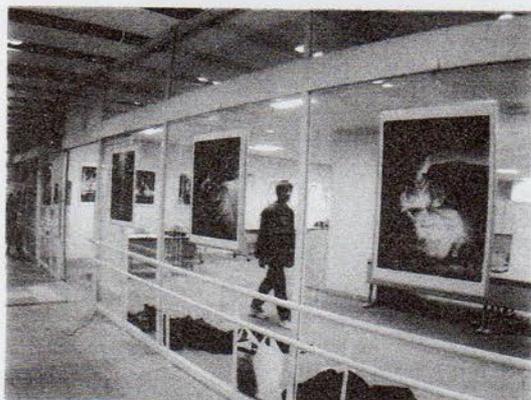
長年にわたりみんなで続けてきた活動に、今、光が当たったわけで大変嬉しいことです。今年度の「開設20周年」への大きなプレゼントになりました。受賞記念パーティーでも開いて、みんなでお祝いしましょうか？

くまもと県民交流館 パレア で、2月22日(土)～25日(火)まで

NPOギャラリー in くまもと 2003が開催されました



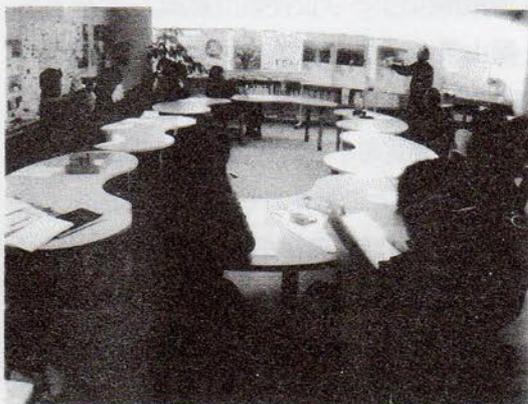
NPO団体などのポスターが展示された会場



会場入り口を飾るKAGAYA氏の星座イラスト



活動を紹介するボランティア団体と参加者



併せて開催された、告知スキルアップ講習会

熊本県の呼びかけに呼応して集まった16のNPOやボランティア団体が、実行委員会を結成して実施した、初めての「NPOギャラリー」。

くまもと県民交流館パレアの知名度向上も兼ねての開催でしたが、集まったNPOやボランティア団体では、準備会合を重ね討議を進めるうちにお互いに知り合い理解し合っ、協力や協働の関係が生まれ始めました。

企画の最初の段階ではポスターの出来栄を心配していたのですが、広告会社「電通」を退職したばかりという広告プロデューサー＝広瀬さんの協力を得て、大企業の宣伝ポスターかと見間違ふような素晴らしい作品が出来上がり、立派な展示会になりました。

会場入り口付近の通路には、KAGAYA氏の協力を得て、黄道12星座を描いたZodiacシリーズが展示され、通る人々の目を引きつけ、会場内へと誘ってくれます。

隣接のパレアルームでは、今回制作されたポスターを使って、どうすれば、自分たちが伝えたいと思っているメッセージを、人々に伝えられるかというテーマでのセミナーが開催されました。参加した団体からは、「初めは、あれもこれも伝えたいと思っていたが、このイベントを通じて告知についてのプロのスキルを学んだ、今後の活動に大いに役立たい。」と、積極的な発言が相次いだ。来年度も行われる予定なので期待して欲しい。

3月3日、岡山県美星町の美星天文台 研修室で

「星空国際交流ワークショップ」が開催されました



美星天文台の望遠鏡（模型）



美星天文台の綾仁台長

1. 岡山県の小さな世界都市創造プラン

岡山県の、個性豊かで世界に向かって情報発信できる町づくりの事業に基づいて、美星町では「美星町小さな世界都市創造プラン」を策定することになったそうです。

そこで、各地で独自の国際交流を繰り広げている天文家達に集まってもらい、事例発表を通じて情報を共有し、さらに討議を深め、「星空の見える町」という特性を生かした国際交流プランづくりを進めたいという目的で、このワークショップが開催されました。

熊本県民天文台を代表して私が招かれたのは、「海外の光害事情」についての発表をして欲しいという要望からでした。実は、国際ダークスカイ協会メンバーでアジアとの関わりが深い内田さんに当初依頼があったのですが、出張などで参加できないため、日頃光害対策に奔走している熊本県民天文台が代わりに発表することになり、内田さんから資料の提供など支援をさせていただいて、この日の発表に臨みました。

新幹線の新倉敷駅から車で35~40分ほどかかる山間の地「美星町」へは、公共交通

機関の便が悪く、なかなか訪問のチャンスがありませんでしたので、これ幸いと参加を承諾しました。

2. ワークショップのプログラム

綾仁 一哉 (美星天文台)

「美星天文台での国際協力・国際交流」

大島 修 (岡山県立鴨方高校)

「スリランカ・アーサー・クラーク・センターとの交流」

磯部 しゅう三 (日本スペースガード協会)

「日本スペースガードの天文教育国際協力」

豊増 伸治 (みさと天文台)

「みさと天文台での国際協力」

倉田 巧 (ぐんま天文台)

「ぐんま天文台での国際協力」

木村かある(日本ハンズオンユニバース協会)

「HOUでの天文教育国際協力」

山西 正博 (さじアストロパーク)

「韓国の天文普及施設事情」

宮島 一彦 (同志社大学)

「昔の東アジア天文交流」

艶島 敬昭 (熊本県民天文台)

「海外の光害事情」



磯部氏の発言が取材を受ける

会場にはマスコミの取材班も待機していて、発表者への質問などがあると発言者の所へ走っていき、発言をカメラに納めています。岡山県の事業についての学識者のワークショップという雰囲気です。(ビックリしました!)

12時30分から17時30分まで各発言者の発表を行ったあと、美星町での国際協力・国際交流のありかたについて、参加者全員での自由討論がありました。

3. 鋭い突っ込み

各発言者の発表が終わると、必ずスペースガード協会の磯部氏から「鋭い突っ込み」が飛んでいました。

この「突っ込み」について噂には聞いていましたし、一昨年の「天文教育普及研究会・全国集会」でも少し体験していました。IDAの内田さんからも「曖昧な発表」にはその根拠などについて「するどい質問が来るよ」と注意を頂いていましたので、当日発表の電子紙芝居では、事実を述べる所と自分の意見を述べる部分とをしっかりと分けるなど、いつもより丁寧に準備しました。

「光害」に関する海外での最新の研究成果についても、アニメ画面をわざわざつくって、理解されやすいように手を加え工夫しました。(列車の中でマウスでお絵かきは大変だった)

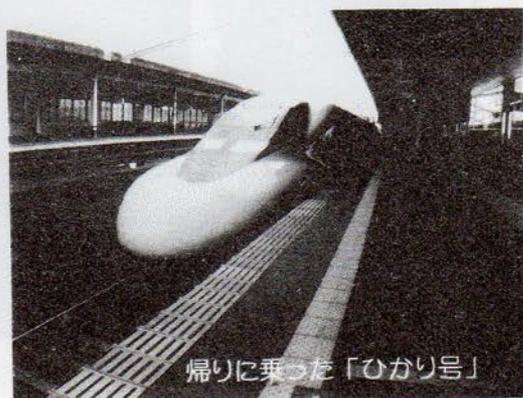


「海外の光害事情」の発表

4. 海外の光害事情

これまで、身の回りの光害については考えても、アジアなど海外の光害について真剣に考えたことはなかったので、今回の発表は新しい視点でとらえ直す絶好の機会になりました。特に、情報の乏しいアジアでの現状を調べるために、インターネットを活用し各地の夜景の画像を集めたのですが、予想を遥かに超えて光害が進行している様を目にすることができました。まるで、「明かるい事=経済発展」と考えているかのような猛烈な照明や夜景を見ると、大急ぎで啓発しなければと思います。

そんな時、「環境問題だとか甘いアプローチでは、説得はできないよ! 相手は金儲けで動いて居る、エネルギー問題として提起すべきだ!」という磯部氏の提言には、さすがに行政を動かしてきた重みがあって、大変参考になりました。



帰りに乗った「ひかり号」

☆ 星のバスツアー ☆

hige

3月1日(土)、あいにくの天気の中「星のバスツアー」の参加者26名が天文台にマイクロバス2台で来られました。小学生中心のメンバーでしたが、スタッフの方が3名、保護者の方が1名、それに川畑さんご夫婦の参加でした。

〈スケジュール〉

18:00 集 合(白川わくわくランド)

18:30 城南県民天文台へバスにて
～ 移動

19:30 到 着

19:30 望 遠と見 学
～

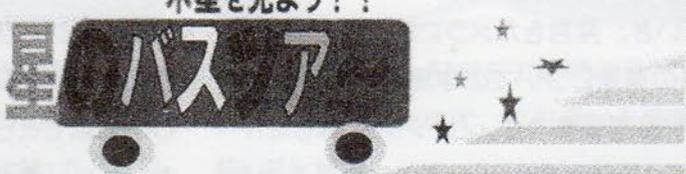
20:30 帰 路
～ (白川わくわくランドへ)

21:30 解 散

参加者募集!!

木星を見よう!!

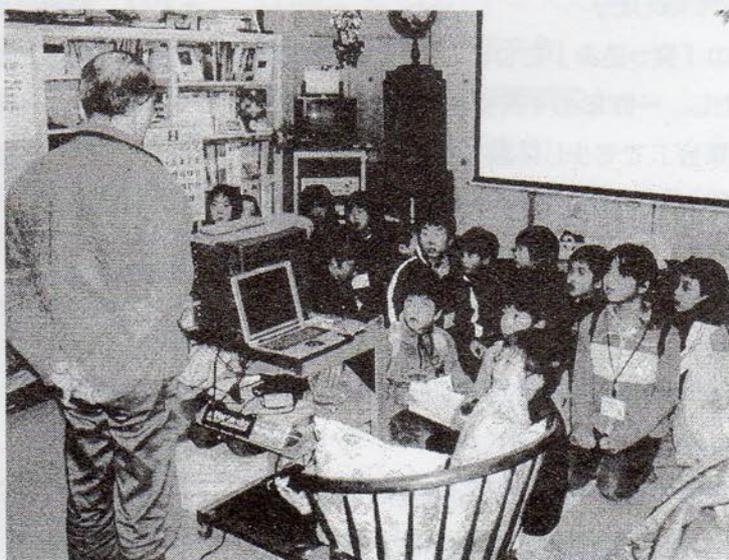
星バスツアー



| | | | |
|--|-----------------------------------|---|--|
| | 日 時 | 平成15年3月1日(土) | |
| | 対 象 | 18:00~21:30 小学校4年生以上中学生以下 | |
| <p>〈応募方法〉 電話で、名前・住所・電話番号 年齢をご連絡ください。 (受付時間) 10:00~17:00</p> | <p>場 所</p> <p>参加費</p> <p>募集人数</p> | <p>わくわくランド~城南県民天文台</p> <p>300円(保険代、他)</p> <p>30名(先着順)</p> | <p>〈お問合せ先〉 白川わくわくランド TEL・FAX 096-346-5454 ホームページアドレス http://www.wakuwaku-land.com メールアドレス wakuwaku@wakuwaku-land.com</p> |

さっそく艶島さんの挨拶とスタッフ紹介のあと、見学が始まりました。残念ながら、雨模様のため天文台の屋根を開けるわけにも行かず、望遠鏡の説明だけになってしまいましたが、とにかく観測室へと登ってもらいました。

望遠鏡の中を覗いて大きな鏡にびっくりしたりしながら、見えないことに残念がっていました。



さて、観測室から下りてくると早速電子紙芝居の始まりです。今日の日のための画面を見ると、参加者の間から大きなどよめきが起こりました。わざわざ作ってあるオリジナル作品だということで期待が高まります。

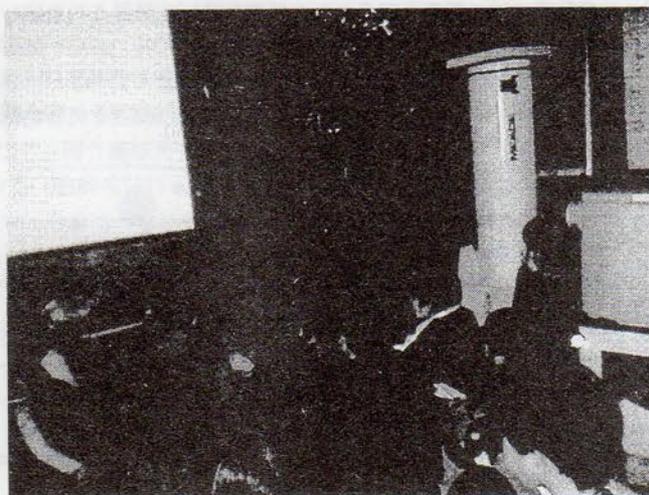
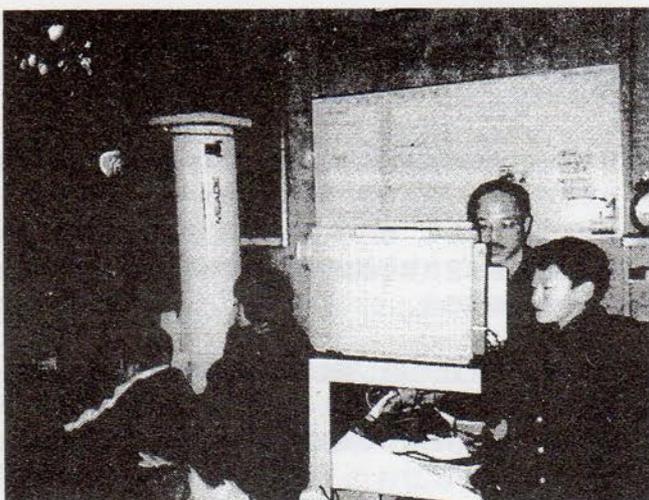
最初に、月についてのお話しです。41 Cm 望遠鏡で撮影した月のビデオ映像を見ながら、望遠鏡で覗いた月の姿を疑似体験してもらいました。この映像は、エレクトリックアイピースを使って撮影したものです。ゆらゆらとゆらめく姿が臨場感をあおります。月の出来方についての最新の学説の紹介など、質問を交えながらの講演でした。

その後は、星座物語の中から「北斗七星」「牡牛座」が披露されました。見るたびにバージョンアップするこれらの作品は天文台の大きな財産です。各地で有名になってきています。

最後の質問を受けながら、予定の時間が終了しました。

今回のバスツアーは川端さんからの紹介で実現しました。天気のことでは大変心配しましたが、わくわくランドのスタッフの方々共々、「リベンジをしよう！」と固く約束をして、この会を終わりました。

終わったあとの談笑ひととき、これからの天文台の活動について語り合いました。楽しむ活動を提案していくことが大切なのではないかと思えます。楽しい一夜でした。



星の停車場 (28) カメレオン座・こじし座

土山由紀子

暖かくなって大気も安定し、星を見るにはよい季節です。梅雨明けまで春霧と悪天候が続きますが、たまに空が美しく澄み渡ることもありますから、そういう日を逃さず空を見上げてみましょう。星の数は少ないながらも、春らしいのんびりした星空が広がっています。

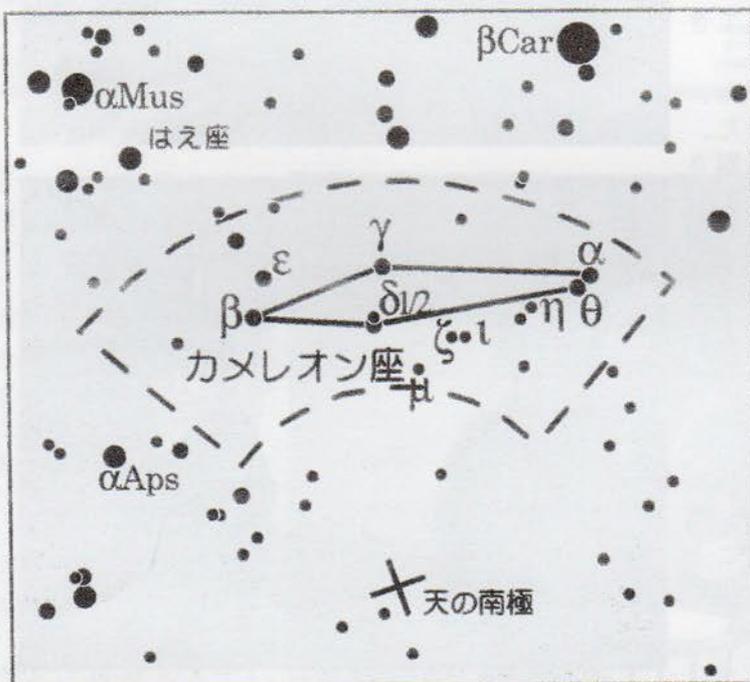
今月は、そんな目立たない春の星座の中でも特に控え目な2つの小星座、カメレオン座とこじし座をご紹介します。

もしかしたら、「カメレオン座なんて名前も聞いたことがない」と仰る方がいらっしゃるかもしれませんね。それもその筈、カメレオン座は、天の南極近くにあつて日本から全く見えず、結びつく神話も伝説もなく、おまけに4等星以下の無名の暗い星ばかりという三拍子が揃った星座なのです。

星座の成立はおそらく15世紀。南方の国々へ探索を始めた大航海時代のヨーロッパ人航海士達が、初めて見た南半球の星空に自分たちの航海を通じて発見された珍しい鳥や動物を記念して描いた星座の一つです。

これらはオランダ人航海士ピエトル・デイルクス・ケイザー（ラテン語名ベトルス・テオドリ）とフレデリック・デ・ホウトマンによってまとめられ、それを地理学者で地図製作者だったオランダ人ベトルス・ブランチウスが1598年に制作した天球儀で明らかにしました。しかしこれらの星座を一般に広めたのは、ドイツのヨハン・バイエル（1572-1625）が1603年に発行した星表『ウラノメトリア』であったため、カメレオン座の他、ケイザーとホウトマンによる12星座の設定者をバイエルとしている資料が多いようです。

古くははえ座と共に扱われ、「ハエを伴うカメレオン」と呼ばれたり、中世のキリスト教中心の時代にはふうちょう座・はえ座と合わせて旧約聖書のイブを表すと言われたりしました。



さて、このカメレオンとは一体どのような動物でしょうか？

樹上生活をするトカゲの仲間で、主にアフリカ大陸とマダガスカル島に住んでいます。体色が黄・緑・褐色に自在に変化することで有名ですね。木の上では、このような複雑な体色が保護色となるのです。航海士達は、カメレオンの変わりやすい体色と予測不可能な海の上を重ねて見たのではないか、などとも言われます。

R.H.アレンの『STAR NAMES』によると、カメレオン座の星々に名前をつけていたのは中国人だ
けで、中国では α θ η ϵ μ 等を“小斗”（小さな測定器具 or 小さな柄杓）と呼んでいたそうです。

次に、しし座に寄り添う小さなライオン、こじし（小獅子）座。

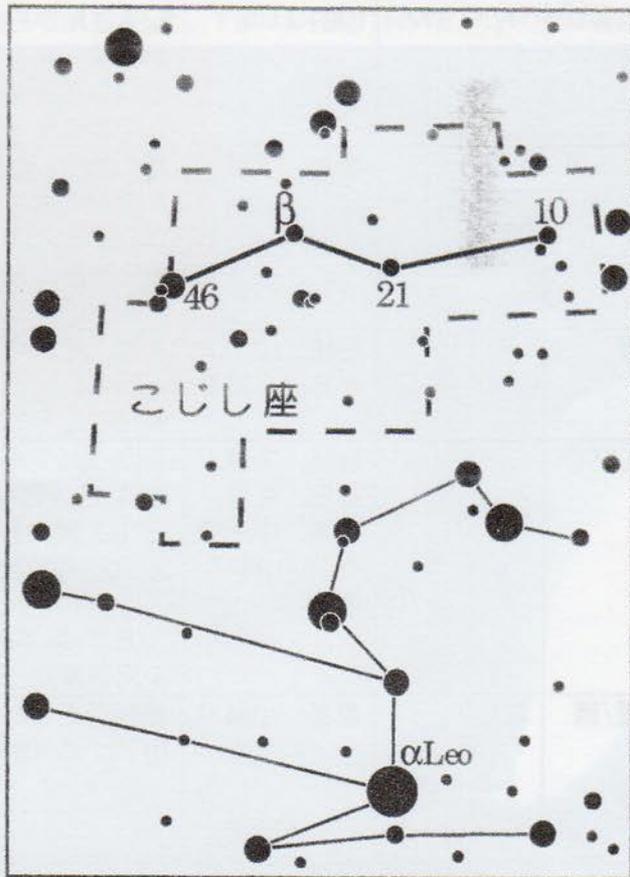
カメレオン座に負けず劣らず暗い星ばかりの伝説もない寂しい星座ですが、それというのも、こ
の星座はドイツ人ヨハン・ヘベリウス（1611-1687）が、おおぐま座としし座の隙間を埋めるため
に作った星座だったからです。

1787年に出版されたヘベリウスの遺作星図の中で、こじし座は獅子の頭の上になぞられるように
描かれており、星座一番の輝星である3.8等の46番星にはプラエキプア（Praecipua）という固有名
が付けられていたそうです。プラエキプアは“主要なもの”とか“素晴らしいもの”という意味の
ラテン語で、この名はイタリアの天文学者ピアッツィ（1746-1826）の『パレルモ星表』でも採用さ
れています。

こじし座についての最も古い言及の一つは、アラートス(B.C.315-240)の『ファインメナ』にある
“大熊の後ろ足の下の、星座に加えられておらず名づけられていない星々”というもので、このほ
か、古代アラビア人は、おおぐま座の項（『星屑』2001年5月号）でお話したように、獅子に驚いて
逃げるガゼルが飛び込んだ池であ
ると考えていました。

また、中国人たちはしし座・
こじし座・かみのけ座を含むこの
周辺に、五帝座・太子・従官・幸
臣・五諸侯・虎賁・少微など皇
帝に仕える役人たちの星座を置い
ています。

中国の星座は紀元前に成立した
古いものですが、同時に、西洋の
影響を全く受けていない独特の体
系が注目されています。天の皇帝
である北極星を中心に、皇族・官
僚・軍隊・庶民など実際の組織や
官職の名を用いた星座が取り囲ん
だ形式で、北極星から遠いほど宮
廷を離れた庶民的な星座となっ
ているのが特徴です。このため、同
じ星でも尊い星座や卑しい星座が
存在しています。星座は約280個
ほど知られますが、日本の星の呼
び名に影響を及ぼしているものも
少なくありません。



2月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 9日/14日=53.8% 一般来台者数 13名 会員来台 39名

| 日付 | 天気 | 来客数 | 担当運営 | 記事 |
|------------|-----------|--------|---|---|
| 1日 (土) | 晴れ | お客さん0 | 小林 J、中尾 T&N、松本、 鹿釜 | 空がよかったので、中尾 T&N さんが写真を撮られます。ニート彗星を見ようとしたのですが、探せないまま沈んでしまいました。(鹿釜) ドローチューブが固まっていたので、グリスを塗っておきました。少しはマシです。 (中尾の) |
| 2日 (日) | 晴れの ち曇 | お客さんなし | 艶島、高田、 松本、小林 M | ニート彗星、艶島さんがデジカメで撮ったがブレていました。スターウォッチング、観測 (高田) |
| 3日 (月) | 晴 | | 小林 J、松本、 鹿釜 | ニート彗星、木星、月、土星、etc (松本) |
| 7日 (金) | 薄曇り | なし | 西嶋、中島 松本、立川、 山田♀ | 木星、M42、月 薄雲をすかしてけっこう見えました。JFR の運転手さんから、きのう火球を見たという Tel。インターネットで確認し、つやしまさんから返しの Tel をしていただきました。富永さん 久々の来台 (西嶋) |
| 9日 (日) | 晴→曇 | 9名 | 艶島、小林マ | 月、木星、土星、M41、M42 7 時台までは晴れ、その後あつという間に雲が広がる。(小林マ) 新入会員、米村敦夫さん。 2/10 パーティーにも参加されます。小林 J |
| 14日 (金) | 曇 | | 西嶋、山田、 小林 J、松本 | 木星、月。月の量についての問い合わせ Tel (西嶋) 米村さん |
| 15日 (土) | くもり | | 艶島、中島、 高田、弓立、 西嶋、中尾達 鹿釜、小林マ、 西川 | Talk About 2/4 法人登記 2/10 建物登記完了 2/22~2/25 NPO ギャラリー事業 3/1 白川わくわくランド来台 3/8 Talk About 4月理事会 → 5月総会 |
| 16日 (日) | 曇/晴 | なし | 艶島、小林マ | 昼間雨だったけど、夕方晴れ間が見えたので出てくる (小林マ) |

| | | | | |
|------------|-----|----|------|--|
| 17日 (月) | 晴 | | 松本 | 本日、天候良いとの事でしたので、土星、木星 etc 撮影と思い来台しましたが PM9:00 着。その後、空に雲が広がり 00:00 時過ぎまで粘りましたがダメでした。私は J 氏の言うように「雲男」なのでしょうか。体調芳しくなく、いつ入院するか分からない状態ですので、運営に迷惑をかけるかもしれません。尚、※※ですので、インフルエンザには無縁であります…。AM1:00 帰り際快晴になるも土星既に遅し。(松本) |
| 20日 (木) | 晴 | 0名 | | 今年初めて天文台に来ました。木星、M42 もひさしぶりで大変よかったです。(松野) |
| 21日 (金) | 晴→曇 | 4名 | 小林 J | 土・日曇の予報、今夜は晴れると思ったけれど、曇ってしまった。4人のお客さんには木星、土星、M42、M45 など明るい天体のみ(小林 J) |
| 23日 (日) | くもり | ナシ | Tsu | 昨日からパレアで NPO ギャラリー開催中(25日火まで)。今日は昼から 17:00 まで会場での当番でした。昨日 2 回上演した「電子紙芝居」人気を聞きつけて、今日は他団体の方々が集まり「今日は何時からやるんですか?」。うれしい依頼に「ご希望に合わせます」と 14:00~お月さんシリーズや星空のビデオ映像を中心に 45 分間くらい上演しました! 夜は天文台で横浜の内田さんと美星町でのワークショップについて打ち合わせ(Tsu) |

詳細は次号星屑にて

(87:18) 18歳 大塚(星野)

www.star-club.jp

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会 星野天文会

星野天文会 星野天文会 星野天文会

星野天文会 星野天文会 星野天文会

星野天文会 星野天文会 星野天文会

0408-

星野天文会

最近暖かい日が続きますね。そろそろ熊本の桜も見頃かな?という頃になっているはず…。春に3日の晴間なしとは良く言ったもので、晴間の続かないこと。雨もしっかり降っていて、水不足には良いんでしょうが、星見となると、ちょっと残念。そろそろ黄砂の季節でもあるので、益々星見の機会が減って行きます。その分、やっぱり花見で…。

☆ 4月の天文現象 & 行事 ☆

- 2日(水) 新月 (04:19) くじら座Rが極大 (周期166日 7.2~14.3等)
- 3日(木) ヘルクレス座Sが極大 (周期307日 6.4~13.8等)
- 4日(金) 木星とプレセペ星団が最接近 (00:00 01°04.2')
- 5日(土) 清明(せいめい…春の日射し強く、全てのものが清くはつらつとしてくる時期)
- 6日(日) エロパ[♁]の影にイが入る(21:06 本影の部分食 継続時間5.4分 減光量35%)
- 10日(木) 上弦 (08:40) 土星とカニ星雲M1が最接近(19:30)
- 12日(土) **トークアバウト 20:00開始 天文台にて**
- 13日(日) エロパ[♁]の影にイが入る(23:22 本影の部分食 継続時間5.5分 減光量47%)
- 16日(水) おとめ座γ星の星食 (03:21.5 見られるのは北日本地方のみ)
水星が東方最大離隔 (19°46.0' 0.2等 視直径07.7")
- 17日(木) 満月 (23:39)
- 20日(日) こいぬ座Rが極大 (周期338日 7.2~11.6等)
穀雨(こくう…春の雨が穀物を潤す時期)
- 21日(月) やまねこ座Rが極大 (周期378日 7.2~14.3等)
- 23日(水) こと座流星群が極大 満月 (21:18)
- 28日(月) カスがエロパ[♁]を隠す(23:59 部分食 継続時間7.9分 減光量41%)
- 30日(水) はくちょう座Xが極大 (周期408日 3.3~14.2等)
イの影にカニ[♋]が入る(20:18 本影金環食2.7分 継続時間7.6分 減光量52%)
星屑担当 中尾 富作

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2003年3月号 通巻337号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座
 熊本県民天文台事務局
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>